

男性育児・家事推進セミナー2019 アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、男性育児・家事推進セミナー2019において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 男性育児・家事推進セミナー2019 参加者全員
- 3)調査方法 男性育児・家事推進セミナー2019 終了後、アンケート調査票に記入
- 4)実施日 2020年2月11日(火)

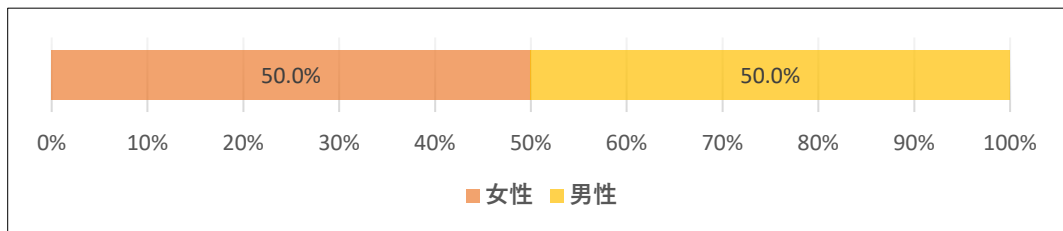
■アンケート集計結果

回答数 対象者 24名、回答者 18名
回答率 75.0%

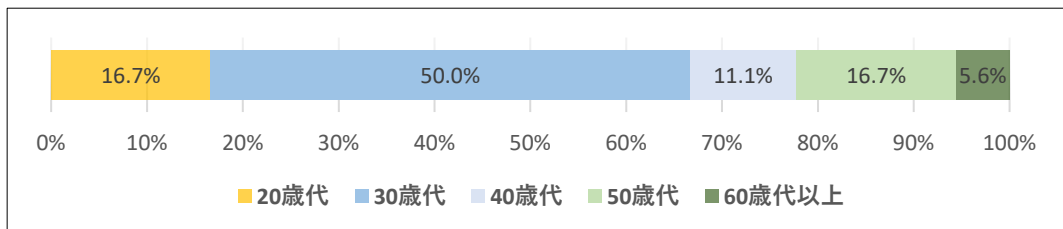
■アンケート調査結果

○問. 回答者の属性

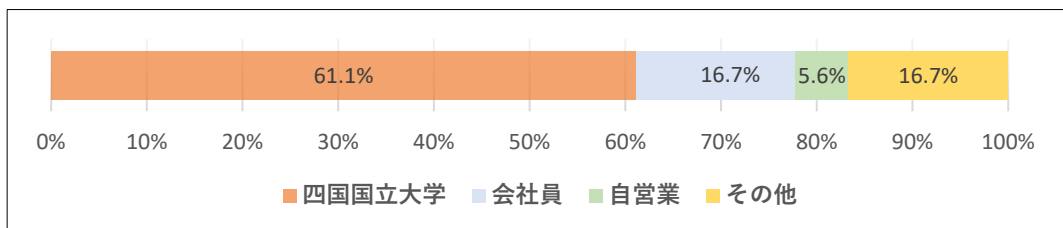
◆性別



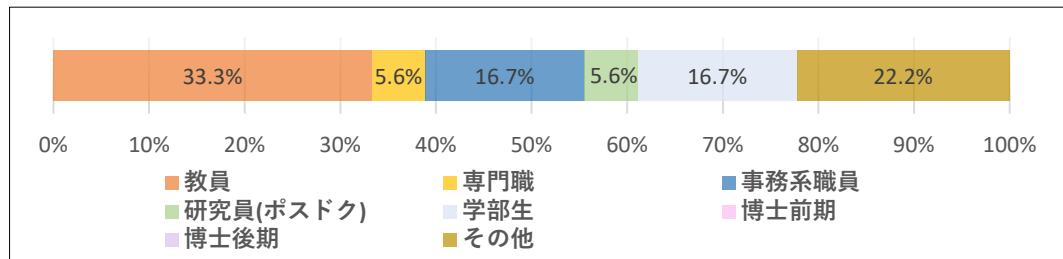
◆年齢



◆所属



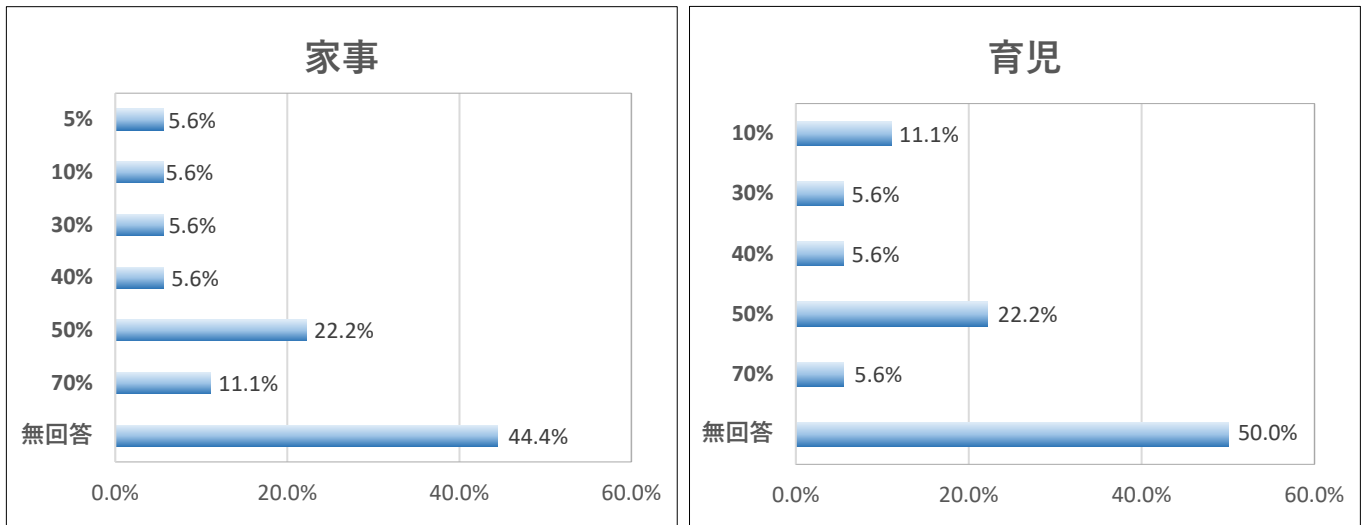
◆職種



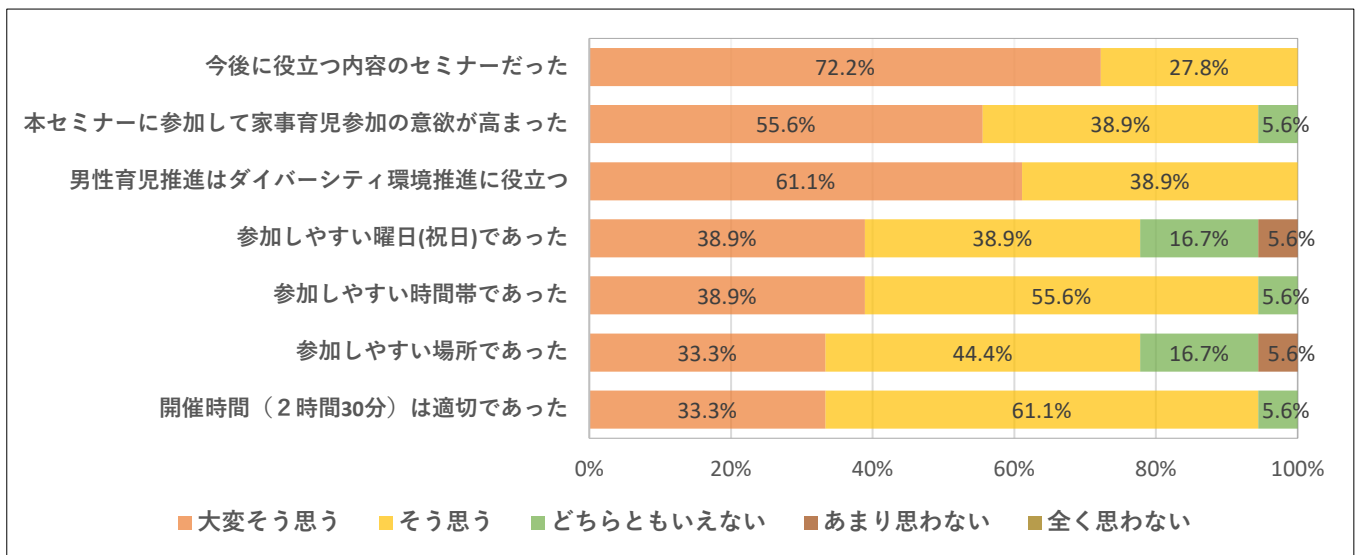
回答者の性別は、女性 50.0%、男性 50.0%、年齢は 30 代が 50.0%と多かった。
所属は、四国国立大学が 61.1%で、他機関等から 38.9%の参加があった。
職種は、教員が 33.3%と多く、次いで事務系職員が 16.7%であった。

○育児の現状

あなたは（女性の場合、あなたのパートナーは）現在どの程度家事・育児を行っていると思いますか。あなたの（パートナーの）関わる割合は、（ ）% / 100



問. 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。

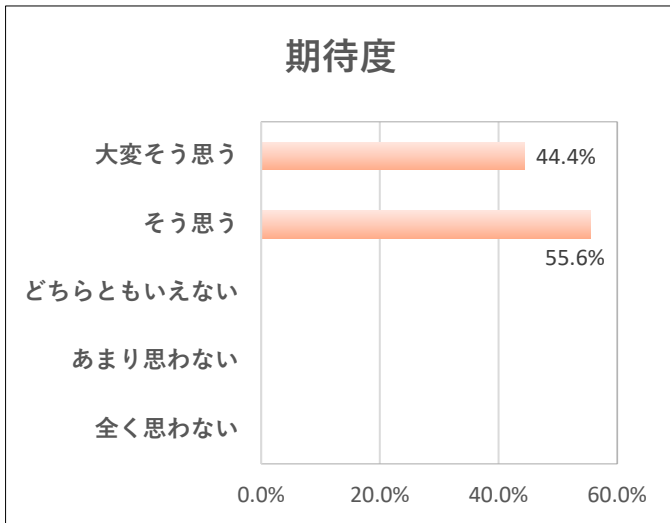


『今後に役立つセミナーだった』に対して 100.0%、『家事育児参加の意欲が高まった』に対して 94.5%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、セミナーへの評価は高かった。

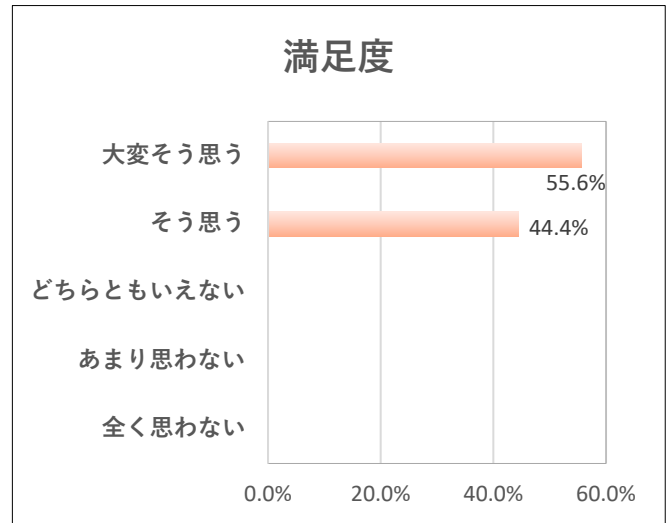
『男性育児推進はダイバーシティ環境推進に役立つ』に対して 100.0%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、ニーズの高いことがわかった。

開催形式については、『開催曜日』は 77.8%、『時間帯』は 94.5%、『場所』は 77.7%が『参加しやすかった』に対して、『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『講義時間(2時間30分)は適切であった』に対して、94.4%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、参加しやすい開催形式であったと考えられる。

・本セミナーに期待していた

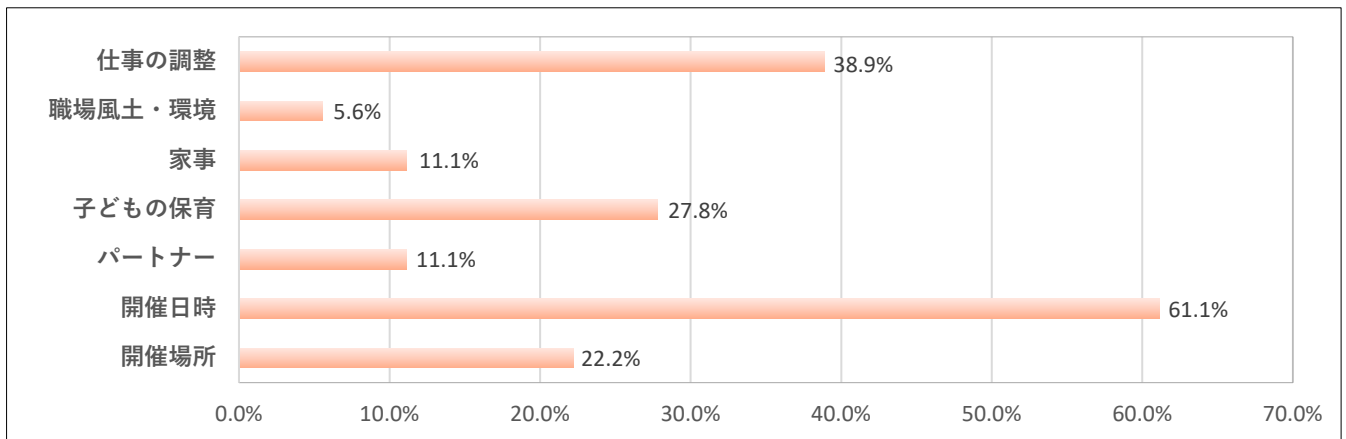


・本セミナーは期待どおりだった



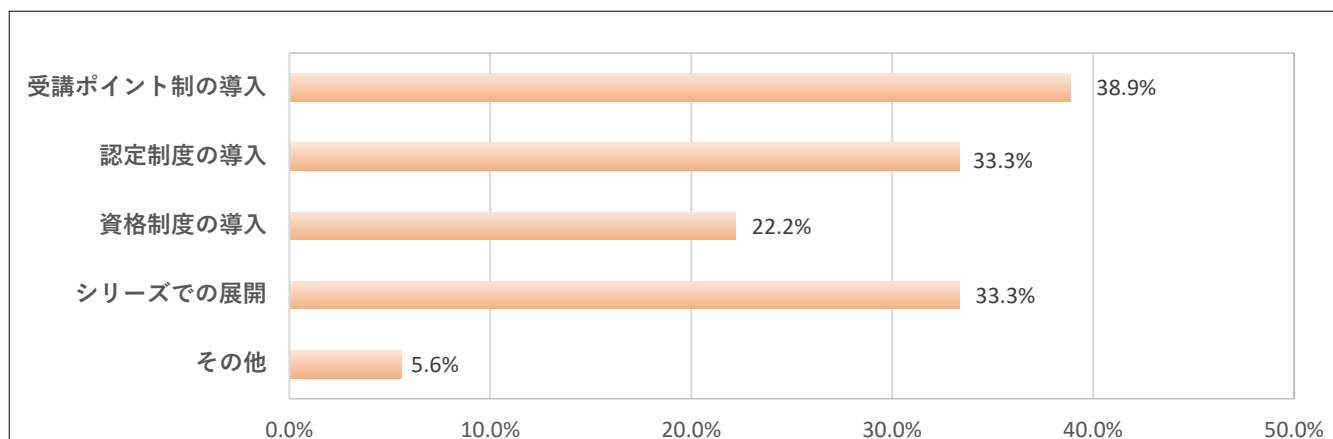
期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、100.0%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、大変高かった。満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、100%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、セミナーの終了後における満足度も大変高かった。また、期待度の平均値は 4.4 点、満足度は 4.6 点であった。

問. あなたのセミナーへの参加（本セミナーに限らない）を阻害する要因はありますか。該当するものすべてにチェックしてください。



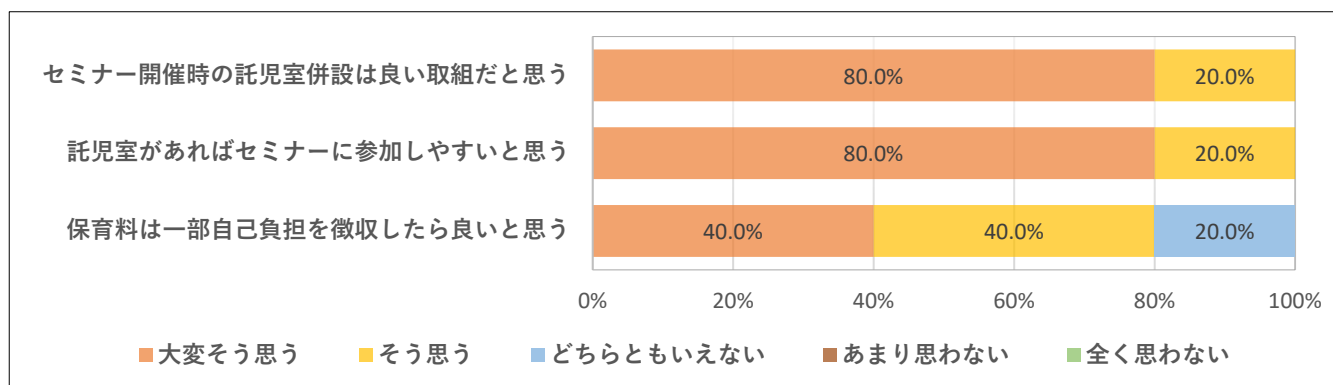
阻害要因については、『開催日時』が 61.1%と最も高く、次いで『仕事の調整』が 38.9%、『子どもの保育』27.8%と高かった。

問. セミナーが、ダイバーシティ環境推進に繋がるための工夫として適切と思うものすべてにチェックしてください。



工夫については、『受講ポイント制の導入』が 38.9%と最も高く、次いで『認定制度の導入』と『シリーズでの展開』が 33.3%と高かった。

問. 一時預り保育を利用された方にお伺いします。



『セミナー開催時の託児室併設は良い取組だと思う』『託児室があればセミナーに参加しやすいと思う』に対して、いずれも 100.0%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、託児室の併設は有用な取組で、セミナーに参加しやすくなるという見解が高いことがわかった。

『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対しては、80.0%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、20.0%が『どちらともいえない』と回答しており、保育料の一部自己負担を可とする見解が高かった。